2020年８月18日

会 社 名　株 式 会 社 ウ ィ ル ズ
代 表 者 名　代表取締役社長 CEO　杉本　光生
（コード番号：4482　東証マザーズ）
問 合 せ 先　専務取締役 CFO　蓮本　泰之
（TEL 03-6435-8151）

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○開催状況

開催日時	2020年８月18日　16:00～17:00
開催方法	「プレミアム優待倶楽部」を利用したオンライン形式による開催 ライブ視聴者からの文字による質問をリアルタイムで受付け、回答を実施。
開催場所	インターネットライブ配信
説明会資料名	2020年12月期　第２四半期決算説明資料

【添付資料】

１．投資説明会において使用した資料

以　上

※この書面（添付資料を含む。）は、有価証券上場規程施行規則第427条に基づき、公衆縦覧に供されます。

株式会社ウィルズ

FY2020/2Q　決算説明資料

2020/08/18

©WILLs Inc.

FY2020/2Q　エグゼクティブ・サマリー

1 売上高は前年同期比、期初計画を超過達成

売上高は前年同期比139.1%、期初計画比127.8%で推移。

2 各段階利益は全て前年同期比、期初計画を上回って着地

・営業利益は前年同期比150.0% 、期初計画比166.1%で推移。
・当期純利益は前年同期比149.8%、期初計画比170.6%の着地。

3 プレミアム優待倶楽部が51.8%増の成長

顧客数の増加及び1社あたりのポイント売上の増加が寄与。

4 通期計画進捗率は売上高、営業利益ともに順調に推移

・2Q売上高進捗率の計画値39.1%に対し50.0%で推移。
・2Q営業利益進捗率の計画値35.7%に対し59.4%で推移。

©WILLs Inc.

現時点における新型コロナウィルスによる影響

1 通期業績への影響

コロナ禍による業績懸念を背景とした株主優待制度廃止の影響の他、
下期の新規受注による影響を見極める為、通期業績見通しは据え置き。

2 営業活動への影響

・リモート営業への切り替えにより成約スピードが鈍化するも、下期以降は正常化しており、徐々に回復する見通し。
・リアル決算説明会サポートの中止が相次ぐもオンライン説明会サポートへシフトしたため、売上は増加傾向。

3 販管費のコントロール

・一時的に不急の採用計画を凍結し、今期の販管費を抑制。
・成長分野への投資は継続。来期にわたりシステム開発への投資に着手。

4 新たな収益機会の創出

・オンライン決算説明会、バーチャル株主総会に経営資源をシフト。
・顧客からの引き合いは旺盛で、4-6月期で14社にサービス提供。

©WILLs Inc.

再掲 FY2020/1Q業績サマリー(期初計画比/前年同期比)

売上高は前年同期比で146.9%
売上高、各段階利益ともに期初計画を上回って着地

(金額単位：百万円)	FY2019.1Q	FY2020.1Q (計画)	**FY2020.1Q (実績)**	計画比	前年同期比
売上高	303	319	**445**	139.5%	**146.9%**
売上原価	157	164	**238**	144.9%	**151.6%**
売上総利益	145	154	**206**	133.7%	**141.9%**
販売費及び一般管理費	108	125	**132**	105.8%	**121.8%**
営業利益	36	29	**73**	253.9%	**201.8%**
（営業利益率）	12.1%	9.1%	**16.6%**	—	**—**
経常利益	42	28	**73**	254.4%	**173.2%**
純利益	26	19	**51**	260.6%	**191.4%**

©WILLs Inc.

FY2020/2Q累計業績サマリー(期初計画比/前年同期比)

売上高は前年同期比で139.1%
売上高、各段階利益ともに計画値を上回って着地

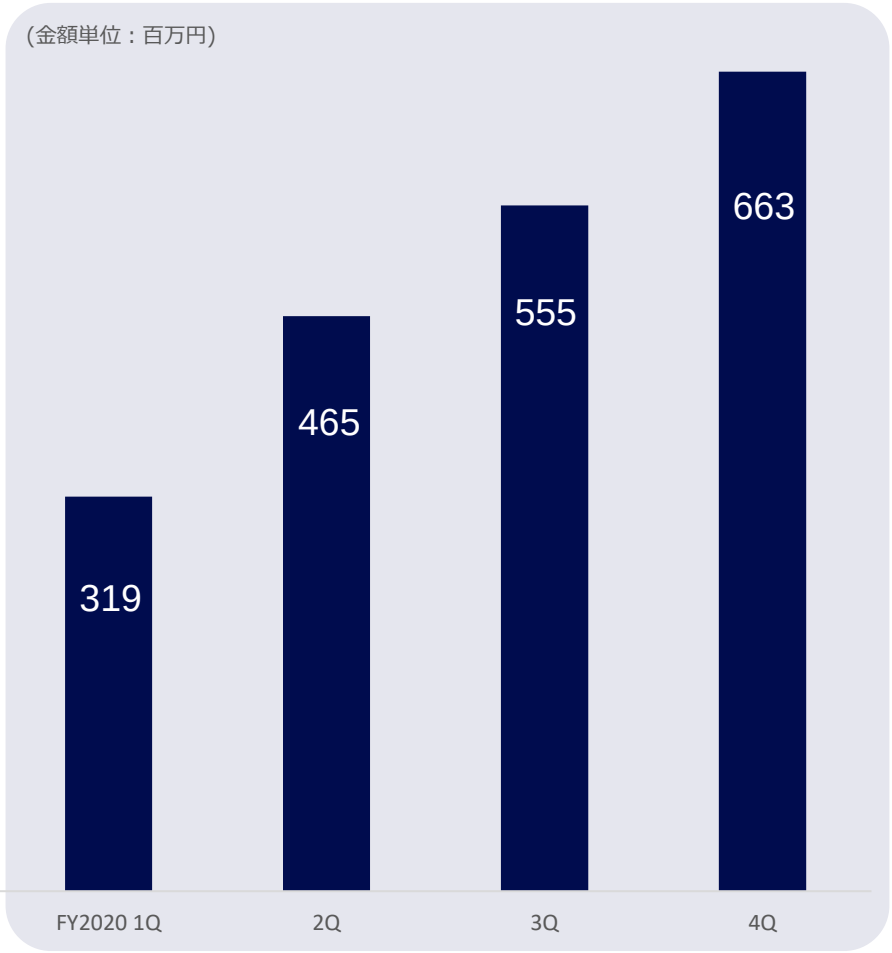
(金額単位：百万円)	FY2019.2Q	FY2020.2Q (計画)	**FY2020.2Q (実績)**	計画比	前年同期比
売上高	721	784	**1,003**	127.8%	**139.1%**
売上原価	361	400	**530**	132.6%	**146.8%**
売上総利益	359	384	**472**	122.9%	**131.4%**
販売費及び一般管理費	220	258	**263**	101.8%	**119.6%**
営業利益	139	125	**209**	166.1%	**150.0%**
（営業利益率）	19.3%	16.0%	**20.8%**	―	**―**
経常利益	144	125	**209**	166.8%	**144.7%**
純利益	97	85	**146**	170.6%	**149.8%**

©WILLs Inc.

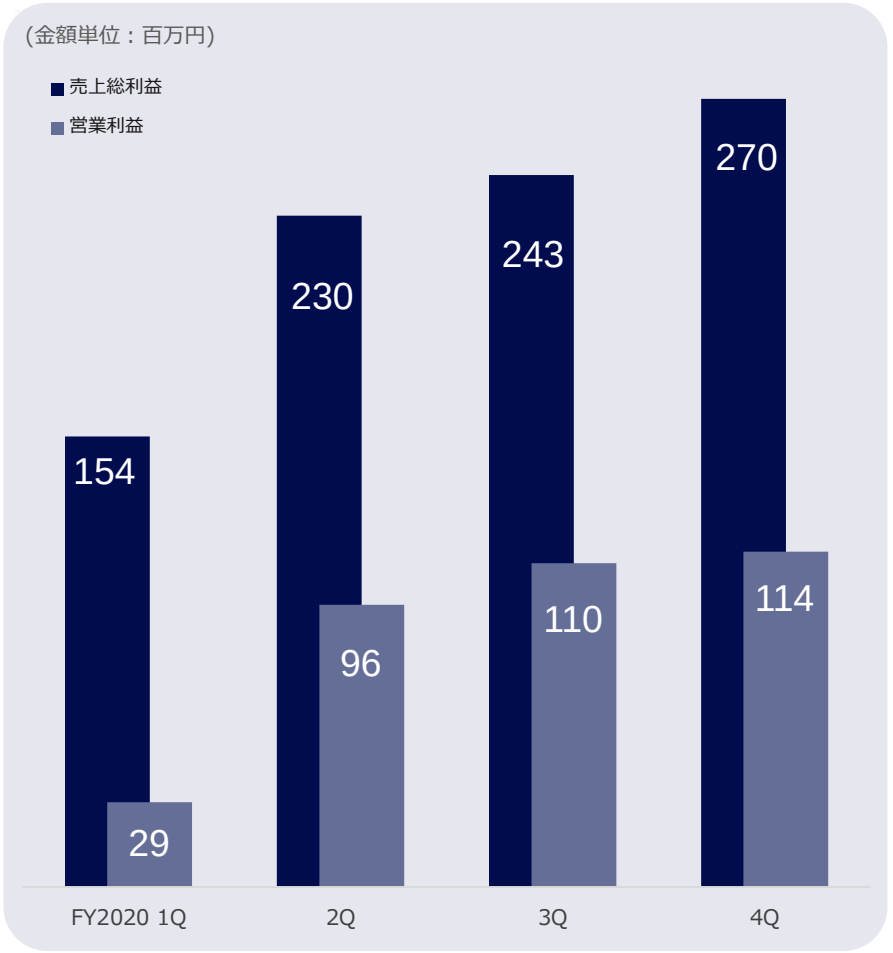
再掲 FY2020　四半期業績見通し(売上高、売上総利益、営業利益)

FY2019同様下期偏重の売上高、営業利益の進捗となる見通し
通期計画の売上高進捗率は1Q:15.9%、2Q:39.1%、3Q:66.8%を計画

■売上高の進捗イメージ



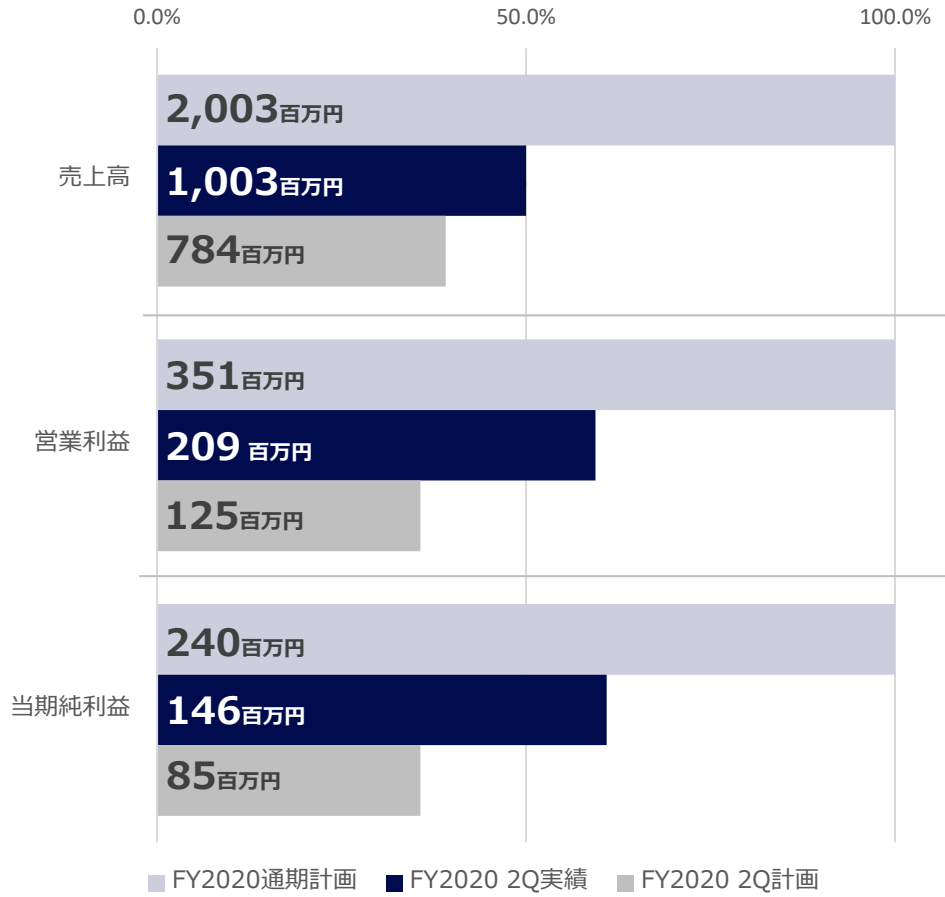
■売上総利益/営業利益の進捗イメージ



©WILLs Inc.

FY2020 2Q累計計画比／通期計画に対する進捗率

FY2020 2Q売上高進捗率39.1%の期初計画に対し50.0%の進捗
営業利益進捗率35.7%の期初計画に対し59.4%を達成



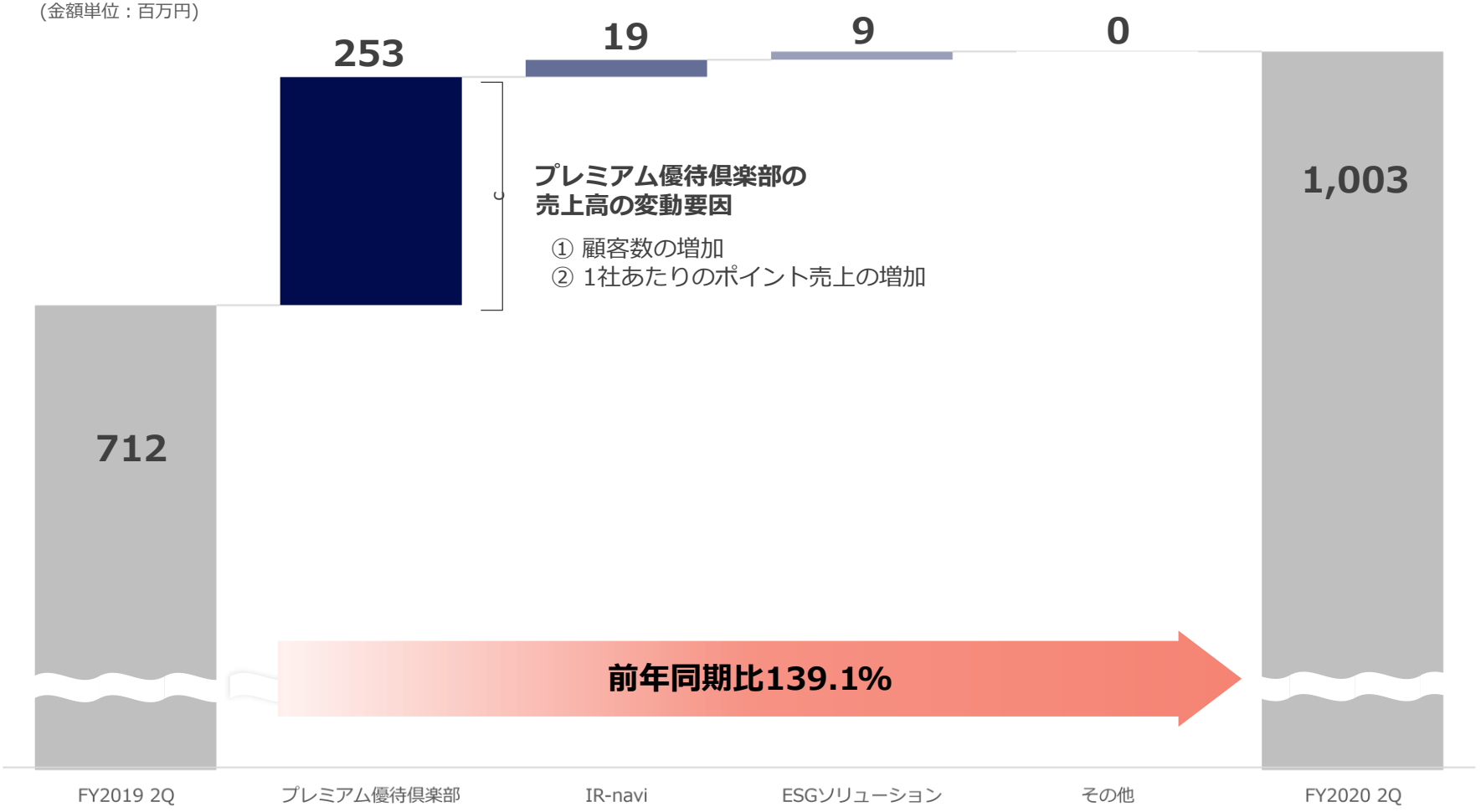
	2Q累計計画比（実績）	対通期計画進捗率（期初計画）	対通期計画進捗率（実績）
売上高	127.8%	39.1%	50.0%
営業利益	166.1%	35.7%	59.4%
当期純利益	170.6%	35.7%	60.9%

©WILLs Inc.

売上高増減分析(前年同期比)

2Qもプレミアム優待倶楽部が全体の成長を牽引
IR-navi・ESGソリューションともに堅調に推移

(金額単位：百万円)

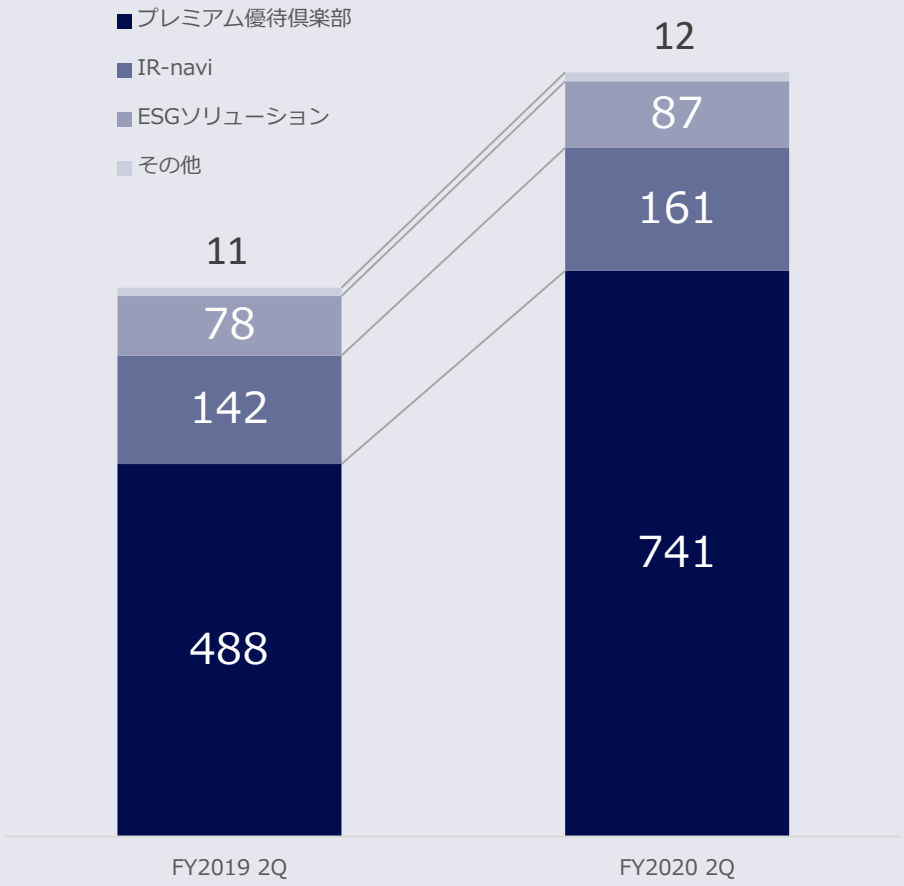


©WILLs Inc.

サービス別売上高の推移(前年同期比)

プレミアム優待倶楽部の売上高が51.8%増
IR-naviは13.3%、ESGソリューションは11.8%の成長

(金額単位：百万円)



プレミアム優待倶楽部

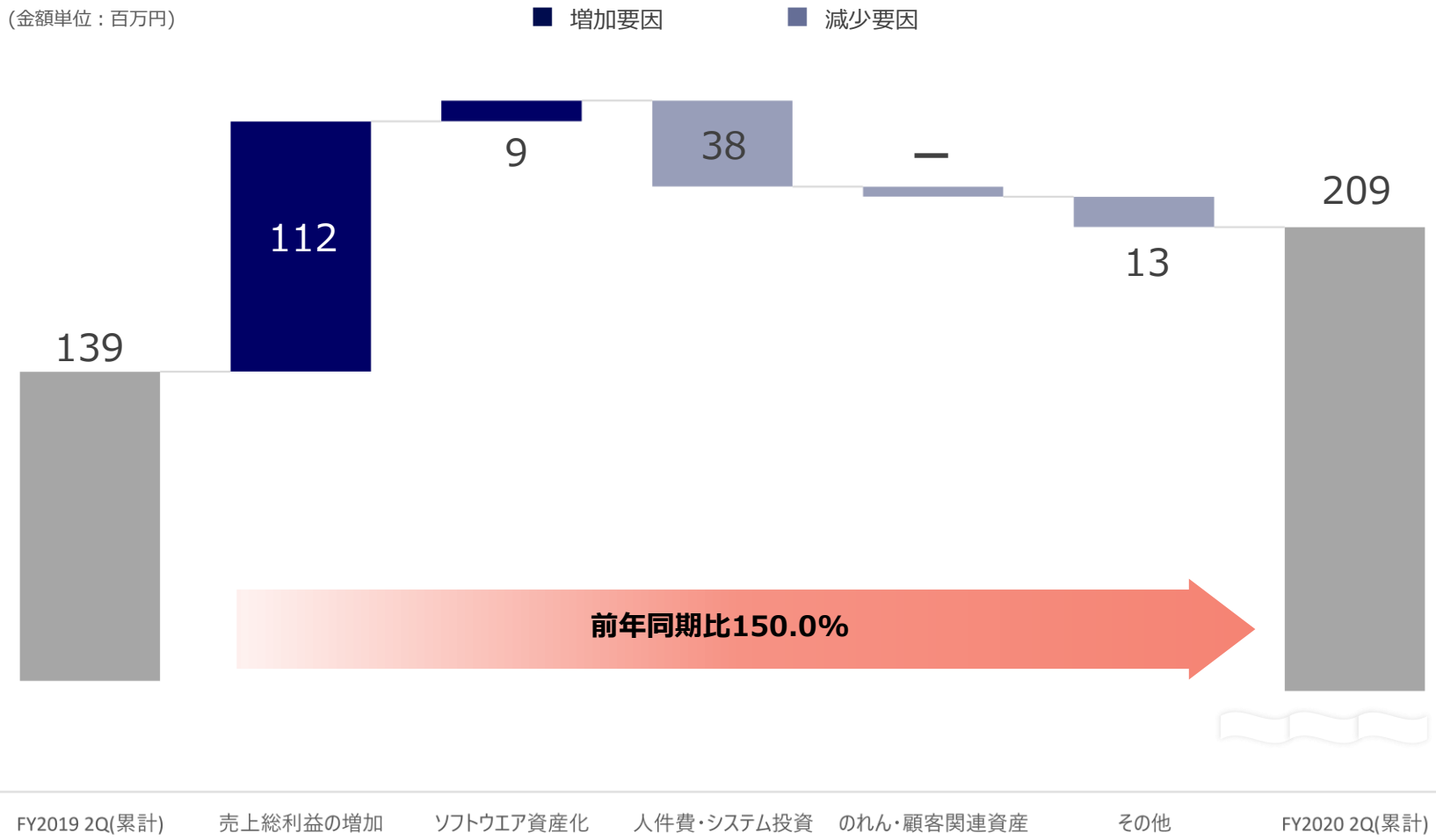
+51.8%

プレミアム優待倶楽部の売上高には、ポイント売上高、システム利用料、案内ハガキ、コールセンター、WILLsCoinの交換手数料等の売上が含まれております。

©WILLs Inc.

営業利益増減分析(前年同期比)

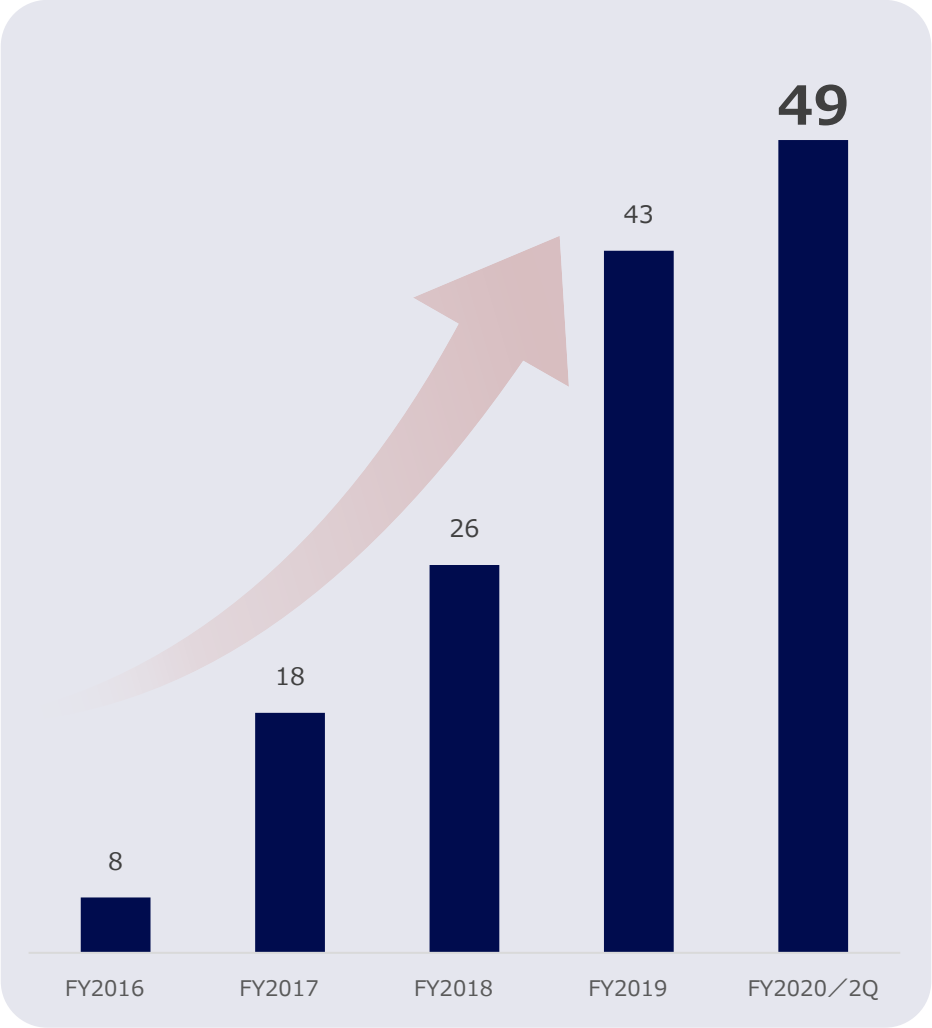
営業利益は、前年同期比150.0%の成長
人件費・システム投資以上に売上総利益が増加し、計画比増収で着地



©WILLs Inc.

プレミアム優待倶楽部の顧客数推移

プレミアム優待倶楽部の顧客数が49社へ増加



顧客数の増加
(FY2019→ FY2020/2Q)

＋6社

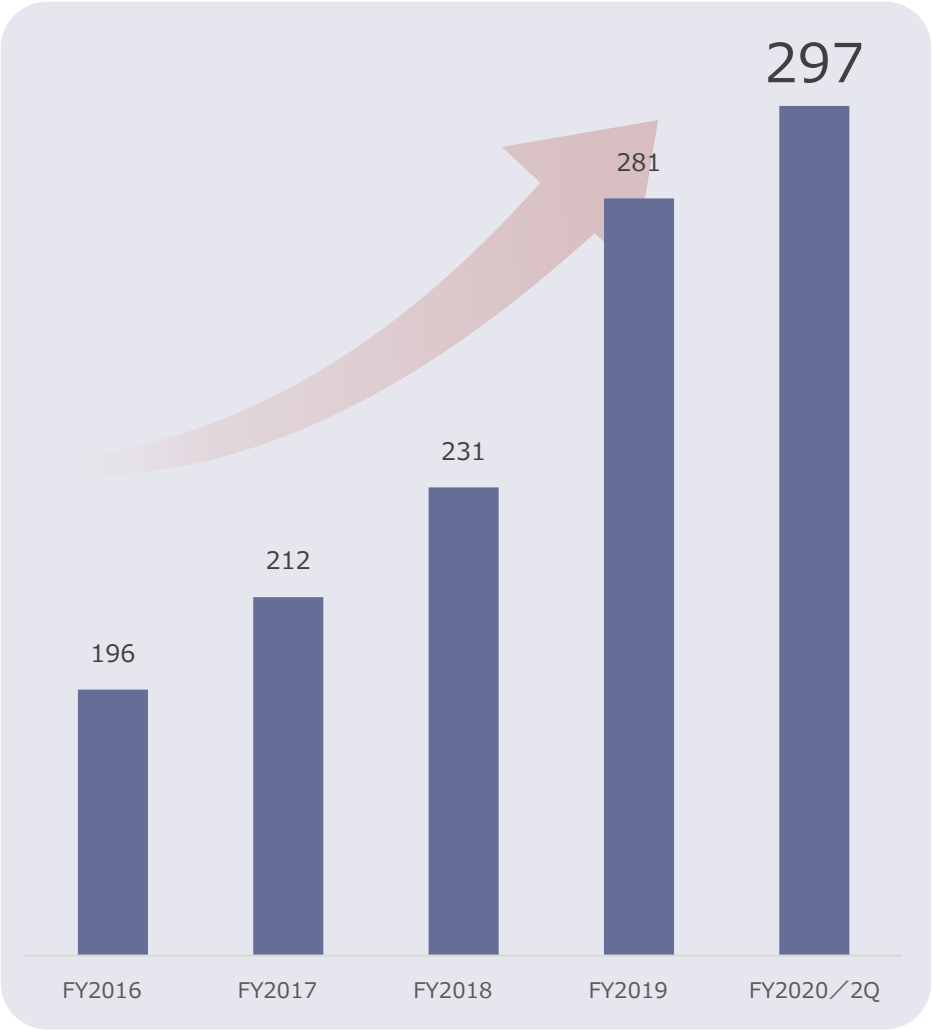
(参考)
適時開示済みの顧客数44社
(2020年8月14日時点)

プレミアム優待倶楽部の顧客数は、契約締結済みの顧客数のみカウントしております。なお、ダイコク電機株式会社とは、2017年10月31日をもって契約を終了しております。

©WILLs Inc.

IR-naviの顧客数推移

IR-naviの顧客数が297社へ増加



顧客数の増加
(FY2019→ FY2020/2Q)

＋16社

IR-naviの顧客数には、プレミアム優待倶楽部の顧客数が含まれております。IR-navi単体の顧客数は、248社です。

©WILLs Inc.

FY2020/2Q決算(貸借対照表)

総資産は前期末から12百万円増の1,442百万円
純資産は前期末から123百万円増の822百万円へ増加

(金額単位：百万円)

	FY2019.2Q	FY2019	FY2020 2Q	期末との差額	前年同期比	主な要因
流動資産	769	1,141	**1,092**	▲ 49	**141.9%**	―
現預金	549	788	**809**	21	**147.4%**	―
売掛金	179	313	**234**	▲ 78	**130.9%**	―
有形固定資産	9	11	**11**	0	**114.9%**	―
無形固定資産	236	252	**260**	7	**109.9%**	ソフトウェア資産の増加
総資産	1,050	1,430	**1,442**	12	**137.4%**	―
流動負債	392	592	**496**	▲ 96	**126.6%**	―
買掛金	143	223	**195**	▲ 27	**136.5%**	―
１年以内返済長期借入金	26	26	**26**	0	**100.0%**	―
未払法人税等	46	96	**62**	▲ 34	**134.0%**	未払法人税等の支払
前受金	100	116	**151**	35	**151.0%**	システム利用料
固定負債	151	138	**124**	▲ 14	**82.1%**	借入金の返済
株主資本	506	698	**821**	123	**162.3%**	利益剰余金の増加／新株予約権行使
純資産	506	698	**822**	123	**162.2%**	―

©WILLs Inc.

FY2020/2Q決算(キャッシュフロー計算書)

営業CFは163百万円のプラス。
キャッシュ創出力が順調に拡大し、FCFは62百万円のプラス。

(金額単位：百万円)

	FY2019 2Q	FY2020 2Q	備考
営業活動によるキャッシュフロー	ー	163	税引前四半期純利益(209)、減価償却費(27)、のれん(3)、売上債権の増減額(92)、たな卸資産の増減額(▲12)、仕入債務の増減額(▲27)、未払金の増減額(▲41)、前受金の増減額(35)、法人税等の支払額(▲96)
投資活動によるキャッシュフロー	ー	▲ 101	無形固定資産の取得による支出(▲36)、貸付金による支出(▲60)
フリーキャッシュフロー	ー	62	
財務活動によるキャッシュフロー	ー	▲ 40	配当金の支払(▲45)、長期借入金の返済(▲14)、新株予約権の行使による株式の発行による収入(22)
現金及び現金同等物の増減額	ー	21	
現金及び現金同等物の期首残高	ー	788	
現金及び現金同等物の四半期末残高	ー	809	

注）2019年第2四半期末のキャッシュフロー計算書は作成しておりません。

©WILLs Inc.

ディスクレーマー:本資料の取り扱いについて

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っている今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 当社株式へ投資される際は、投資家ご自身の判断と責任で行われますようお願いいたします。

©WILLs Inc.



©WILLs Inc.